

「浜松市道路河川里親制度」の河川清掃活動（23回目）

平成24年7月28日（土）

「夏の河川清掃活動は特に厳しい、熱中症等の心配があるので体力的に自信のない人は夏を避け、春か秋の河川清掃に参加した方がいい」社内でこんなことが囁かれています。

そんな囁きをものともせず今回の夏の活動に45名の社員と、浜松市より土木部の倉田次長や道路課の人達が応援に駆けつけてくれました。

夏の場合は通常より1時間早く午前8時から作業開始です。全長300mの範囲を上流と下流に分け、草刈機隊が先行して草を刈っていきます。残り的人達が刈った草を集めて道路に上げて、車や一輪車で回収場所まで運びます。作業を初めてから10分ほどで、もう汗が流れます。気温もぐんぐん上昇し、ポカリやお茶で水分を補給しながら作業を続けます。「無理をしないで…」「ゆっくりやろうよ」と声を掛け合います。1時間半ほどして休憩です。みんな本当に疲れきっていて、全身に汗が滲んでいます。一人あたり3本ほど用意した飲み物がどんどん空いていきます。15分ほどで作業再開、休憩の後はペースが落ちてきます。「体調が少しでもおかしかったら休んで…」そんな声を聞きながら作業を続けます。1時間ほどで作業がすべて終わり綺麗な土手が現れました。「夏休みの子供たちが、この水路でザリガニ取りでもして遊んでくれたら嬉しいな…」こんな想いを抱きます。参加してくれた社員や市の職員のみなさん、本当にお疲れさまでした。

